

平成23年度地域包括ケア  
推進指導者養成研修  
(中央研修)

テキスト

1日目 9月12日(月) 13時00分～18時00分  
2日目 9月13日(火) 9時30分～16時20分  
会場：新大宗ビル フォーラムエイト 700ホール  
(東京都渋谷区道玄坂2-10-7)

## 地域包括ケア推進指導者養成研修（中央研修） 次第

### ○研修全体の目的・ねらい

各種マネジメントや、地域において果たすべきセンターの役割（自立支援の推進）を理解し、保険者と協働してセンターの方向性や目標を設定し、また、制度改正の方向性を理解した上で、地域の課題、ニーズを第5期介護保険事業計画に反映し、保険者の施策につなげるための提言ができる人材を養成する。

### ○研修日程・会場

平成23年9月12日（火）・13日（水） 新大宗ビル フォーラムエイト

### ○研修スケジュール

#### 【1日目】

	時間	項目	内容及び目的・ねらい	講師・説明者
1	13:00-13:05	開催挨拶		厚生労働省老健局振興課 課長 川又竹男
2	13:05-13:15	オリエンテーション	各研修項目の目的とねらい及び 中央研修受講者の役割について	厚生労働省老健局振興課 人材研修係長 山本明彦
3	13:15-14:50	講義	介護保険制度改正の概要 及び地域包括ケアの理念 ＜目的・ねらい＞ 介護保険制度改正の概要を知り、また、地域 包括支援センターの役割、地域包括ケアの理 念を理解し、どのように自治体と協働しなが ら地域包括ケアを推進するかを考えるための 参考とする。	厚生労働省老健局総務課 課長補佐 東内京一  厚生労働省老健局 老人保健課課長補佐 日野原友佳子
	14:50-15:00	休憩		
4	15:00-18:00	講義・演習	地域ケア会議（自立支援型マネジメント）の 概要・講義・演習① ＜目的・ねらい＞ 地域包括ケアを実現する手法としての地域ケ ア会議の概要を知り、1日目は個別の課題把 握についての内容の講義・演習を通して、地 域ケア会議の具体的な進め方や、地域ケア会 議に至る前までプロセスについて知る。	地域包括ケア推進指導者 養成研修企画委員 （一般財団法人長寿社会 開発センター常務理事 石黒秀喜、 青梅市地域包括支援セン ターすえひろ センター 長 水村美穂子）

【2日目】

	時間	項目	内容及び目的・ねらい	講師・説明者
1	9:30-9:35	朝インフォ	研修項目の説明	厚生労働省老健局振興課 課長補佐 井上宏
2	9:35-11:30	講義・演習	地域ケア会議（自立支援型マネジメント）の 講義・演習② ＜目的・ねらい＞ 2日目は、1日目の内容を踏まえた上で地域 全体の課題に展開した内容の講義・演習を行 い、地域ケア会議の具体的な進め方等を知る。	地域包括ケア推進指導者 養成研修企画委員 （青梅市地域包括支援セ ンターすえひろ センタ ー長 水村美穂子）
3	11:30-12:00	講義	地域包括ケア推進事業取組報告 ＜目的・ねらい＞ H22 年度地域包括ケア推進事業を実施した 市町村の中から、先進的な取組を行った地域 包括支援センターについて、1～2箇所から、 事例発表を行い、今後のセンターの方向性や 目標を設定する上での参考とする。	H22 年度地域包括ケア推 進事業実施自治体 （北九州市保健福祉局 地域支援部 いのちをつ なぐネットワーク推進課 花井さくら）
	12:00-13:00	昼休憩		
4	13:00-15:30	講義・演習	センター長の各種マネジメント能力の向上 ＜目的・ねらい＞ センター長としての各種マネジメント能力を 向上させ、保険者とも協働しつつ、地域にお ける今後のセンターの方向性や目標を設定す る能力を養成する。	地域包括ケア推進指導者 養成研修企画委員 （富士宮市保健福祉部 福祉総合相談課 参事・ 地域包括支援センター長 土屋幸己、公益社団法人日 本看護協会 村中峯子）
	15:30-15:40	休憩		
5	15:40-16:10	講義	研修の振り返りと全体総括 ＜目的・ねらい＞ センター長としての役割を再確認し、研修で 学んだことをどのように実践に活かすか検討 する。	地域包括ケア推進指導者 養成研修企画委員会委員 （琴浦町 健康福祉課 地域包括支援センター 主査 藤原静香）
6	16:10-16:20	説明	受講後の実践、ブロック研修会での役割、振 り返り研修会の開催予定、実践後レポートの 提出等の説明	厚生労働省老健局振興課 人材研修係長 山本明彦
			閉会	

# 開催挨拶

---

memo

各研修項目の目的とねらい 及び  
中央研修受講者の役割について

---

memo

# 地域包括ケア推進指導者養成研修事業

地域包括ケアの考え方を踏まえ、地域包括支援センターの一体的な運営や地域のネットワーク構築の中心を担う職員を養成するため、地域包括支援センター職員等を対象に中央研修及びブロック研修（全国7ブロック）を実施する。

	中央研修	ブロック研修
内容	地域において果たすべきセンターの役割（自立支援の推進）を理解し、保険者と協働してセンターの方向性や目標を設定し、保険者の施策につなげるための提言ができる人材を養成する研修（講義・グループワーク）を行う。 ※修了後振り返り研修を実施	全国を7のブロックに分割し各ブロックにおいて、地域において果たすべきセンターの役割（自立支援の推進）を理解する等、地域包括ケア推進の中核となる人材を養成する研修（講義・グループワーク）を行う。
対象	都道府県が推薦する、地域包括支援センターの業務について幅広い知見と経験を有する者 100名程度	各ブロックに含まれる都道府県内の地域包括支援センター長及びそれに準ずる者、市町村の地域包括・事業計画担当職員 1, 200名程度（原則先着順）
時期・日程等	平成23年9月12・13日	平成23年10月～平成24年1月 2日間・全国で合計12回
会場	東京都内	各ブロック内

## 研修のねらい（センター長等の役割）

- 我がセンターはどこに向かっている？どこに向かえばいい？（センターとしての方向性）
- 組織と地域と政策のマネジメントに生かせる手法（方向性の具現化、仕組みとしての構築）
- 共感する、ヒントを得る（自分のセンターで生かすとしたら・・・）

○ PDCAで磨きをかける（まずは実践、その後のブラッシュアップ）

組織で広める、地域で広める（伝道師）

## 中央研修のねらい

- 皆さんは指導者でもあり、指導者の指導者でもある（中央研修とブロック研修）
- ブロック研修での指導者役（地域ケア会議の模擬実践（ロールプレイ）における指導者）
- 家に着くまでが遠足です（スキルの定着、振り返り研修）



## 実践レポートの提出

- 研修を受講して、スキルとして、あるいは仕組みとして定着させることが最終的な目標です。
- 研修修了後、実際の業務にどう生かしたか、その中で課題として感じたことや課題を解消していくための今後の方向性についてレポートとしてご提出いただきます。
- 様式や提出方法等については後日送付いたしますが、研修修了者は必ず提出いただく予定です。

## 振り返り研修

- 中央研修修了者を対象に、現場での実践を踏まえた振り返り研修を行います。（今年度の2月ごろに実施する予定です。）
- 中央研修で習得したことを、実際に業務の中で活用してみて、改めてこういった“壁”があるのかなど参加者で共有し、その“壁”の乗り越えるにはどうしていけばいいかを考える場とする予定です。
- カリキュラムや応募方法など詳細については別途ご案内いたしますので、積極的にご参加ください。